

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 末期腎臓病の血清カリウム値と予後』
研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院
研究責任者 腎臓内科 職位・氏名 教授 常喜信彦

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院腎臓内科では、透析を必要とする末期の腎臓病患者における血清カリウム値が透析開始後の予後に与える影響について調査し、さらにその影響に対して、使用していた薬剤がどのように修飾を加えているかを調べることを目的として研究を計画しました。この研究で得られる成果は、今後の腎臓病診療における血清カリウム値の管理の改善につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、(東邦大学医療センター大橋病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。
対象者:1993年1月～2018年12月までに東邦大学医療センター大橋病院(旧東邦大学医学部附属大橋病院)腎臓内科(旧第三内科)において腎不全により透析を開始した方を対象とします。この間に透析を開始した方は750名ほどとなり、対象者に該当します。
方法:診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

情報:病歴、診療の治療歴、各種検査結果、透析開始後3年間の通院歴

【研究組織】

当院のみで行う研究です。

代表施設名:東邦大学医療センター大橋病院

研究代表医師:常喜信彦 役職:教授

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。また対象者の意思表示が困難な場合は、親族の方、あるいはそれに準ずる方を代諾者として下記までご連絡いただきたく思います。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 腎臓内科

職位・氏名 教授 常喜信彦

電話 03-3468-1251 内線 7942